

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組1	生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進
取組の目的	生涯にわたり健康で幸せに暮らせるように、それぞれの生活や年代にあわせた健康づくりを推進します。

現状と課題	<p>◎本市における生活習慣病の特徴である「糖尿病が強く疑われる人」は、特定健診のデータから、男女とも50歳代から県平均を上回っているという現状がある。</p> <p>◎生涯にわたり健康に生活するためには、40～50歳代からの健康づくりだけでなく、若い時から健康づくりに取り組むことが重要である。企業と連携し、従業員の健康づくりを戦略的に推進する「健康経営」の支援に取り組むことで、若い世代からの健康づくりを促進する必要がある。</p>
-------	--

## 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合(ヘモグロビンA1cの値が6.5%以上の人)(%)	目標値	—	—	8.7	8.4	7.5	81.6%
		実績値	9.2 (H25)	9.7 (H26)	10.3 (H27)			
2	市国保特定健診で内臓脂肪症候群該当者及び予備群者の割合(%)	目標値 上段:男 下段:女	—	—	30.7 12.5	29.3 12.2	25.1 11.3	96.4% 92.0%
		実績値 上段:男 下段:女	33.3 13.0 (H25)	31.4 13.4 (H26)	31.8 13.5 (H27)			
3	総合健康センター(聖隸袋井市民病院と休日急患診療室を含む)の延べ利用者数(人)	目標値	—	—	110,000	112,000	120,000	97.9%
		実績値	—	84,864	107,741			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				92.0%
		実績値						

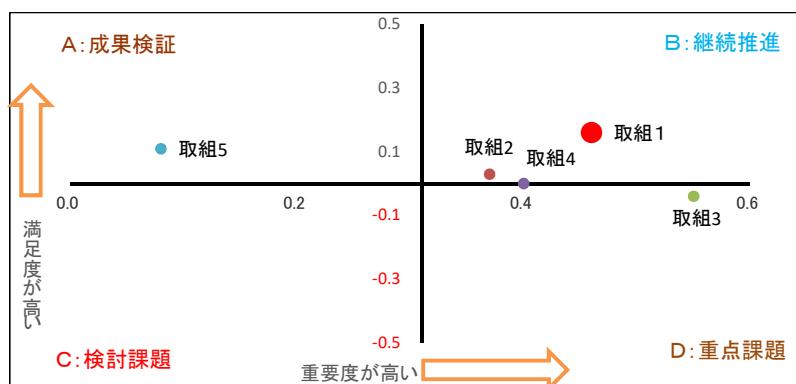
## 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	市国保特定健診受診率(%) 厚生労働省・県健康福祉部国民健康保険課「平成27年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況速報値」	52.9	46.1	38.1	49.6	45.4	37.6

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

## 政策2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.46				
満足度	0.16				



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	
<b>基本方針(1)地域における健康づくりの推進</b>					
出前健康教室開催事業	健康づくり課	1,318	1,913	継続	◎
地域ヘルスプロモーション事業(地域健康寺子屋事業)	健康づくり課	301	522	継続	
健康運動サポーター活動推進事業	健康づくり課	102	340	継続	

#### 基本方針(2)各年代における健康づくりの推進

認知症予防教室事業	健康づくり課	407	282	継続	
介護予防プログラム普及事業	健康づくり課	0	518	継続	
介護予防教室事業(筋トレマシン教室)	健康づくり課	0	1,336	継続	
子ども健康教育支援事業	健康づくり課	826	1,037	継続	

#### 基本方針(3)生活習慣病の発症予防と重症化予防

各種がん検診事業	健康づくり課	86,412	91,576	継続	
生活習慣病予防事業	健康づくり課	900	1,327	継続	
後期高齢者健康診査事業	市民課	5,224	6,856	継続	
後期高齢者人間ドック助成事業	市民課	1,000	1,100	継続	

#### 基本方針(4)栄養・運動など生活習慣の改善

ICTを活かした健康づくり推進事業(アプリ開発)	健康づくり課	0	11,000	縮小	
健康塾開催事業	健康づくり課	762	394	継続	
食育推進事業	健康づくり課	4,255	3,569	継続	
フッピー健康ポイント事業(健康マイレージ)	健康づくり課	3,451	1,105	継続	◎

#### 基本方針(5)心の健康づくりの推進

虐待予防事業	健康づくり課	22	97	継続	
自殺予防対策事業	健康づくり課	63	173	継続	


#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎糖尿病や内臓脂肪症候群等の該当者割合は、昨年度より増加しているが、保健師又は管理栄養士による個別面談を実施し、内臓脂肪症候群等の該当者の約2割の方が改善している。また、市国保特定健診の受診率は県平均を大幅に上回っており、今後も健診受診を呼び掛けていく。 ◎聖隸袋井市民病院では、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者を確保でき、4月から新たに回復期リハビリテーション病床50床を開設し、医療環境を充実させたことで、患者数の受け入れを大幅に増やすことが出来た。	H 28 の 評 価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎糖尿病未治療者(ヘモグロビンA1c6.5%(NGSP値)以上の者で服薬していない者)を対象に個別面談を実施するなど、延べ640人に対し、糖尿病に関する保健指導を実施した。また、内臓脂肪症候群該当者及び予備群者のうち服薬していない方を対象に、保健師又は管理栄養士による個別面談を実施し、そのうち約2割の方が改善している。		
III. 今後の展開方向	◎健康を支える環境づくりと健康課題の解決に向け、企業・事業所の健康経営を支援していく。また、県及び全国健康保険協会静岡支部等と連携して健康経営の普及啓発や課題整理を行うとともに、事業所出前健康教室による健康増進の動機づけ支援や、スマートフォンの歩数計を主とした健康ポイントシステムの普及など、企業との連携を強化していく。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組2	いきいきと暮らせる健康長寿の推進
取組の目的	すべての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を目指します。

現状と課題	◎高齢化の進行に伴い、今後もひとり暮らし高齢者や要介護認定者数、認知症患者数がさらに増加していく事が予想される。特に、団塊の世代が後期高齢者に到達する2025年を見据え、引き続き「地域包括ケアシステム」を推進していく必要がある。 ◎団塊の世代が65歳に到達し、介護保険認定率及び1人あたりの介護サービス給付額も増加傾向である。第7期介護保険事業計画が平成30年度から開始するため、本年度介護保険事業計画を策定する予定である。
-------	---

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	要介護(要支援)認定者の割合(65歳以上)(%)	目標値	—	—	16.2	16.4	17.8	100.0%
		実績値	15.5	15.4	15.2			
2	介護予防教室・講座参加者数(人)	目標値	—	—	15,700	16,100	18,000	100.0%
		実績値	14,039	13,890	16,012			
3	介護支援ボランティア登録人数(人)	目標値	—	—	290	310	330	83.1%
		実績値	256	244	241			
4	認知症サポーターの人数(人)	目標値	—	—	1,200	1,300	1,300	94.6%
		実績値	776	1,099	1,135			
5	要介護(要支援)認定者のうち 在宅サービス及び地域密着型 サービス(小規模多機能型居宅 介護)利用者の割合(%)	目標値	—	—	57.4	57.5	57.8	100.0%
		実績値	57.2	60.9	62.3			
		目標値	—	—				95.5%
		実績値						

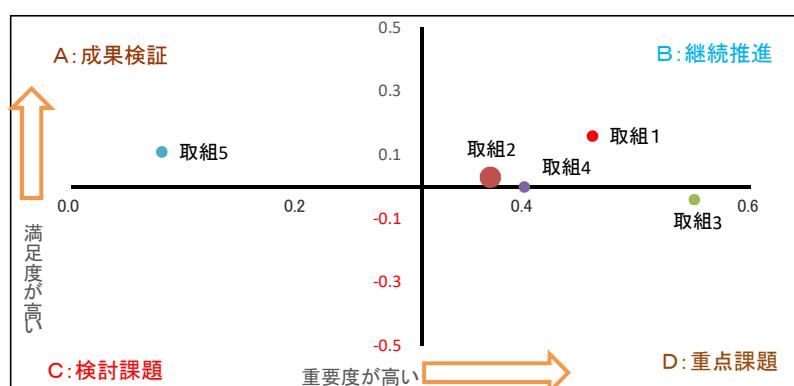
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	要介護(要支援)認定率(%)県「平成27年度介護保険事業状況報告年報」	15.9	15.3	16.3	15.4	13.5	15.9
2	ひとり暮らし高齢者率(%)県「高齢者福祉行政の基礎調査(H28.4.1現在)」	12.8	13.2	12.2	17.0	6.1	18.6
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

#### 政策2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.37				
満足度	0.03				



#### 4. この取組実現のための主な事業

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組3	安心できる地域医療の充実
取組の目的	保健・予防から医療、介護、福祉へと切れ目のない連携体制の構築を目指します。

現状と課題	◎医師不足・偏在が進む中、医療機関の機能分化と連携の推進による地域医療体制の強化、さらには患者の適正な医療機関受診による医療機関の維持が求められている。 ◎中東遠総合医療センターでは、「救命救急センター」の指定や病院機能評価の認定を受けるなど、圏域の基幹病院としての役割を果たすとともに、効率的な運営と健全な経営の推進が求められている。
-------	---

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	お達者度(男性) (年)	目標値	—	—	17.56	17.60	17.74	99.4%
		実績値	17.51 (H24)	17.44 (H25)	17.46 (H26)			
2	お達者度(女性) (年)	目標値	—	—	21.08	21.11	21.20	98.5%
		実績値	20.87 (H24)	20.86 (H25)	20.77 (H26)			
3	中東遠総合医療センターの患者満足度(入院) (%)	目標値	—	—	88.0	88.5	90.0	100.0%
		実績値	87.0	83.7	88.7			
4	中東遠総合医療センターの患者満足度(外来) (%)	目標値	—	—	67.5	70.7	80.0	89.6%
		実績値	61.3	59.3	60.5			
5	総合健康センターでの総合相談 件数 (件)	目標値	—	—	2,600	2,700	3,000	96.0%
		実績値	—	2,080	2,495			
		目標値	—	—				
		実績値						
								96.7%

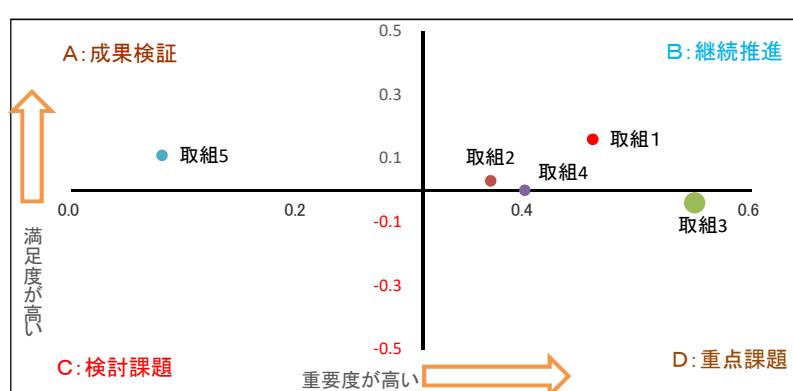
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	お達者度(男性)(平成26年実績) (県発表)	17.46	18.41	18.13	18.46	18.43	17.81
2	お達者度(女性)(平成26年実績) (県発表)	20.77	21.21	21.07	20.69	21.35	21.02
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

#### 政策2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.55				
満足度	-0.04				



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	
<b>基本方針(1)切れ目のない地域医療体制の確保</b>					
中東遠総合医療センター運営負担金	地域包括ケア推進課	705,622	706,387	継続	
袋井市病院事業運営費補助金	地域包括ケア推進課	338,816	338,196	継続	
袋井市立聖隸袋井市民病院運営事業	地域包括ケア推進課	1,312,576	1,916,779	縮小	

#### 基本方針(2)救急医療体制の確保

中東遠総合医療センター運営負担金【再掲2-3-(1)】	地域包括ケア推進課	705,622	706,387	継続	
一次救急医療事業	地域包括ケア推進課	41,096	43,556	継続	

#### 基本方針(3)医療と介護の連携強化

総合健康センター施設管理運営費	地域包括ケア推進課	143,739	161,039	拡充	




#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎お達者度については、県平均を下回るもの、高齢化率や高齢者世帯におけるひとり暮らし高齢者の割合は県下でも低い状態である。 ◎中東遠総合医療センターにおける入院患者の満足度については、各病棟に退院支援担当者を設置し、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職が携わることで、安心した入院生活につながり高い満足度になった。 外来における満足度については、待ち時間短縮に向けさらなる改善が必要だが、取り組みに対する一定の評価を得ており、昨年度より満足度は上がっている。	H28 の 評 価	概ね順調		
II. 28年度に取り組んだ内容	◎地域医療体制の充実として、身近な地域で安心して出産できる環境を整えるため、産科医療施設開設者に対して支援を行い、新たに2施設で出産が可能となった。 ◎中東遠総合医療センターでは、新公立病院改革プランを策定し良好な病院運営に努めるとともに、「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関と連携・協力し医療の質とサービスの向上、救急医療の実施など、信頼される病院として地域医療に貢献した。				
III. 今後の展開方向	◎お達者度の向上、自立支援を図るため、引き続き「運動」「食生活」「社会参加」分野の事業を推進する。 ◎中東遠総合医療センター、聖隸袋井市民病院では、医療機能の分化・連携を図り、それぞれの病院改革プランに基づく取り組みを実施する。 ◎地域包括ケアシステムの構築と事業を充実させるため、袋井市在宅医療多職種連携推進会議や研修会を開催するなど多職種の連携を推進する。				

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組4	自分らしく暮らせる障がい者支援の推進
取組の目的	障がいのある人が、住み慣れた地域で、生きがいを持って生活できる環境を整備します。

現状と課題	◎障害者総合支援法が平成25年4月1日に施行され、全ての障がい者及び障がい児が可能な限り住み慣れた地域で細やかなサービスを受け、自分の能力を最大限發揮し、生きがいを持って生活できるように環境整備をすることが求められている。 ◎国は長期入院中の障がい者の在宅移行を方針とするが、その受け入れのサービスや施設の整備がまだ十分な状況ではない。
-------	---

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	共同生活援助(グループホーム)の定員数(人)	目標値	—	—	71	71	101	100.0%
		実績値	66	66	71			
2	避難行動要支援者の個別計画作成の同意率(%)	目標値	—	—	72.0	74.0	80.0	97.6%
		実績値	70.8	69.6	70.3			
3	障がい者の法定雇用率(2.0%)を達成している一般企業の割合(%)	目標値	—	—	34.0	38.0	50.0	100.0%
		実績値	27.1	32.7	43.2			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
								99.2%

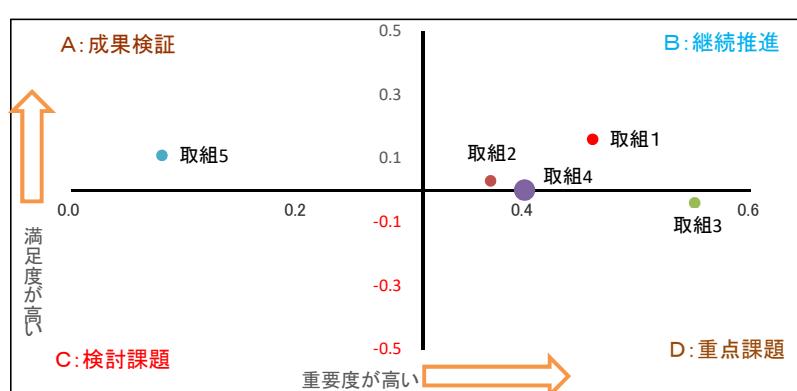
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	平成28年度障害者就労施設等からの物品等の調達実績(県障害者政策課HP)(円)	2,785,530	3,025,032	11,792,362	5,765,963	2,041,370	—
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

#### 政策2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.40				
満足度	0				



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	

##### 基本方針(1)自立した生活の支援

地域活動支援センター事業	しあわせ推進課	16,890	12,814	継続	
日中一時支援事業	しあわせ推進課	35,478	38,400	継続	
障害児放課後児童クラブ運営事業	しあわせ推進課	24,296	38,325	継続	
日常生活用具給付事業	しあわせ推進課	15,057	14,540	継続	

##### 基本方針(2)社会福祉施設の整備支援

社会福祉施設・設備整備費補助事業	しあわせ推進課	1,305	1,600	拡充	

##### 基本方針(3)障がい者への理解と地域の交流の支援

緊急通報システム機器貸与事業	しあわせ推進課	132	275	継続	
相談員設置事業(身体)	しあわせ推進課	320	320	継続	
相談員設置事業(知的)	しあわせ推進課	148	148	継続	




#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎共同生活援助(グループホーム)1施設が開設できることにより、グループホームの定員目標値を達成することができた。また、避難行動要支援者へ個別計画を策定するための個人情報の提供に関する同意率は、平成27年度から2%増加しており、着実に成果が出つつある。 ◎障がい者の法定雇用率(2.0%)を達成している一般企業の割合は43.2%となり、障がい者雇用について、企業や市民の理解が進んでいる。さらに、障害者就労施設等からの物品等の調達では、学校給食の食材用野菜の購入等、積極的に取り組んでいる。	H28の評価	概ね順調
II. 28年度に取り組んだ内容	◎共同生活援助(グループホーム)の開設予定事業者がおり、その開設手続を支援することで、施設設置を促進した。また、避難行動要支援者へ、個別計画の策定、策定に必要な個人情報の提供について、周知・依頼を実施した。 ◎障がい者の法定雇用率について、現状分析を実施し、研修会等へ参加し情報収集を行うとともに、障害者優先調達では学校給食の食材用野菜の購入等、積極的に取組んだ。		
III. 今後の展開方向	第3次障がい者計画(平成30年度～平成35年度)及び第5期障がい福祉計画(平成30年度～平成33年度)を策定する中で、障がい福祉サービス提供事業者やサービス利用者へ調査を実施し、その意見を反映させた上で計画を策定し、障がい者を受け入れる施設整備の推進など、障がい者の自立に向けた施策を推進していく。		

## 取組別評価シート(平成28年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組5	親しみやすい市民スポーツの推進
取組の目的	市民が明るく健康でいきいきとした生活を送れるように、気軽に親しめるスポーツ文化の推進に取り組みます。

現状と課題	◎2018年(平成30年度)全国高等学校総合体育大会弓道競技大会の開催、2019年(平成31年度)ラグビーワールドカップ静岡県開催、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催により、市民のスポーツへの関心が高まっている。 ◎スポーツに取り組む市民は増えており、一定のスポーツ環境は整っているものの、本市の運動施設は老朽化が進んでいることから新総合体育館の整備を進めるとともに、既存施設の改修を計画的にすすめていく必要がある。
-------	--

### 1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H26	H27	H28	H29	H32	H28達成率
1	スポーツ指導者派遣回数 (回)	目標値	—	—	180	185	200	72.8%
		実績値	169	151	131			
2	スポーツ指導者育成事業助成金の交付件数 (件)	目標値	—	—	21	22	25	4.8%
		実績値	18	3	1			
3	全国スポーツ大会の出場者数 (激励金交付件数)	目標値	—	—	70	75	90	88.6%
		実績値	61	61	62			
4	市内の運動施設の利用者数(エコパを除く) (人)	目標値	—	—	695,000	700,000	750,000	100.0%
		実績値	660,891	672,956	732,308			
		目標値	—	—				
		実績値						
		目標値	—	—				
		実績値						
								66.6%

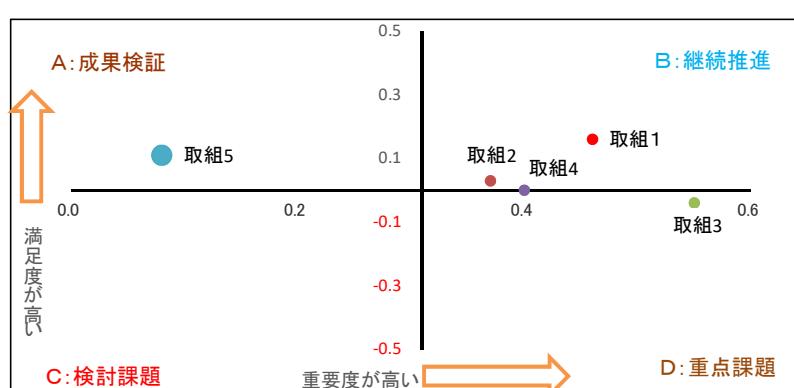
### 2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

### 3. 市民意識調査結果及びその分布

#### 政策2 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.08				
満足度	0.11				



#### 4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H30年度に 重点化する 事業
		H28年度 実績額	H29年度 予算額	H30年度 予算の方向性	
<b>基本方針(1)子どものスポーツ機会の充実と体力向上</b>					
各種スポーツ教室・大会開催事業	スポーツ推進課	2,457	3,918	継続	
学校運動施設運営事業	スポーツ推進課	1,654	1,641	継続	

#### 基本方針(2)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

スポーツドリーム推進事業	スポーツ推進課	4,949	8,381	拡充	◎
ウォーキング普及事業	スポーツ推進課	1,140	940	継続	
エアロビック普及事業	スポーツ推進課	687	757	継続	

#### 基本方針(3)誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

風見の丘施設管理運営事業	スポーツ推進課	68,917	70,404	継続	
総合体育館整備事業	スポーツ推進課	39,945	842,308	拡充	

#### 基本方針(4)アスリートを育てる競技スポーツの推進

静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	スポーツ推進課	1,744	2,271	継続	
袋井市スポーツ協会運営補助事業	スポーツ推進課	7,760	7,760	継続	



#### 5. 総合評価

I. 評価の分析	◎スポーツ指導者派遣回数では、教育委員会の既存プログラムにエアロビックを組み込むなどしたため、回数は減少したが、市民がより参加しやすい環境づくりにつながった。 ◎スポーツ指導者育成事業助成金の交付件数では、指導者の高齢化が進み、平成27年度3件、平成28年度1件と減少している。また、全国スポーツ大会の出場者数では、各競技のレベルに差があり、全体の競技レベルの向上を図るために、幼児期から体力向上に取り組む必要がある。 ◎市民ニーズを捉えた各種講座や運動教室の開催、施設の維持管理に努めた結果、運動施設の利用者数は昨年度より約6万人増えており、市民意識調査においても、満足度は高い結果となっている。	H28の評価	一部に改善を要する		
II. 28年度に取り組んだ内容		◎市内小中学校や幼稚園、保育園をはじめ、公民館や地域の各種団体等に、スポーツ推進委員によるスポーツ指導者の派遣を呼びかけ、市ホームページや広報ふくろいなどにより、スポーツ指導者育成事業助成金の交付や、全国スポーツ大会の出場に伴う激励金交付の周知を図った。			
III. 今後の展開方向		◎ラグビーワールドカップの開催までにラグビーの普及を図り、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致では、外国チームのトップアスリートとの交流により、競技力の向上を図るとともに国際友好親善を深めていく。 ◎市民が利用しやすい新総合体育館を整備することで、スポーツを通じた市民交流の活性化を図るとともに、市内運動施設の維持・修繕を計画的に進める。			